

# 「放課後子ども教室」 取組事例集

～ 平成30年度 ～



長野県教育委員会事務局

文化財・生涯学習課

## 目次

市町村	学校名(実施事業名)	ページ	市町村	学校名(実施事業名)	ページ
《東信地区》			《中信地区》		
小海町	小海小学校「小海町放課後子ども教室」	・・・ 1	木曾町	日義小学校「放課後子ども教室『くすくす』」	・・・ 21
軽井沢町	中部小学校「中部地区児童館」	・・・ 2	上松町	上松小学校「きっこう」	・・・ 22
立科町	立科小学校「立科町放課後子ども教室」	・・・ 3	南木曾町	南木曾小学校「なぎそっこ」	・・・ 23
《南信地区》			玉滝村	玉滝小学校「玉滝村放課後子ども教室」	・・・ 24
岡谷市	長地小学校「おさつちあ」	・・・ 4	大桑村	大桑小学校「みちくさ」	・・・ 25
下諏訪町	下諏訪南小学校「下諏訪南小学校子ども教室」	・・・ 5	松本市	奈川小学校「奈川小学校放課後子ども教室」	・・・ 26
原村	原小学校「原っ子広場」	・・・ 6	塩尻市	吉田小学校「吉田小コムスクゼミ」	・・・ 27
伊那市	西春近北小学校「にしはる学習タイム」	・・・ 7	安曇野市	堀金小学校「堀金小わいわいランド」	・・・ 28
駒ヶ根市	赤穂東小学校「すずらん寺子屋塾」	・・・ 8	麻績村	麻績小学校「おみっこ元気くらぶ」	・・・ 29
飯島町	七久保小学校「七久保子ども広場」	・・・ 9	生坂村	生坂小学校「のびのびスクール」マラソンクラブ	・・・ 30
中川村	中川東・西小学校「中川放課後子ども教室」	・・・ 10	池田町	池田小学校「いけっこクラブ」 会染小学校「そめっこクラブ」	・・・ 31
宮田村	宮田小学校・中学校「宮田うめっこ塾」	・・・ 11	松川村	松川小学校	・・・ 32
飯田市	丸山小学校「青空スクール」	・・・ 12	《北信地区》		
松川町	松川北小学校「松川北小学校放課後子ども教室」	・・・ 13	千曲市	更級小学校「放課後子ども教室」	・・・ 33
高森町	高森南小学校「南小ふれあいクラブ」	・・・ 14	小布施町	栗ガ丘小学校「小布施子ども教室」	・・・ 34
阿智村	浪合小学校「浪合子ども教室」	・・・ 15	信濃町	信濃小中学校	・・・ 35
根羽村	根羽小学校	・・・ 16	中野市	日野小学校「ぼっぷ教室日野」	・・・ 36
売木村	売木小中学校「うるぎふれあい教室」	・・・ 17	木島平村	木島平小学校「木島平村放課後子ども教室」	・・・ 37
天龍村	天龍小学校「天龍村放課後子ども教室」	・・・ 18	野沢温泉村	野沢温泉小学校「のざわおんせん遊友くらぶ」	・・・ 38
泰阜村	泰阜小学校	・・・ 19			
喬木村	喬木第二小学校「たかぎ第二子ども教室」	・・・ 20			

※複数校で放課後子ども教室事業を行っている自治体においては、1事例の掲載としています。

(小海町立小海小学校) 「小海町放課後子ども教室」

事業実施状況

担当課・係	子育て支援課子育て支援係	
主な活動場所	児童館	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	水曜日 放課後午後3時～6時
	土日	土曜日 午前8時30分～12時
	長期休業	夏休み2日間、春休み1日間
帰宅方法	一般児童と同じ	
負担金	なし	
登録者数	95人(一日平均35人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	協働活動支援員	2
協働活動サポーター	特別支援サポーター	
ボランティア	児童館職員	3

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	○		他団体、組織	—

活動内容

- 常勤職員3人と協働活動支援員で行なっている
- いろいろな体験が出来るように地域の方の協力をお願いしながら行事を計画する。
- 囲碁・将棋教室は、月2回くらいのペースでボランティアの方が来館し相手になってくれている。
- 人数を見ながら、異年齢の交流ができるように縦割りのグループを作り、行事を進めている。
- スポーツ教室(ソフトバレー、カローリング、ドッジボール、大縄跳びなど)
- 体験教室 (そば打ち、お茶、恵方巻き、パン作り、しめ縄作りなど)
- 物づくり教室(編み物、リース、ミサンガ、切り紙など)

気づいたことや成果

- 初めは渋っていた子どもも、やり始めてみると夢中になっている。
- 異年齢グループにすることで大きい子が小さい子を気づかって上げられるようになってきた。

課題や反省点

- ・いかに多くの子を行事に呼び込むか。
- ・自分の思うようにならないので参加をしない子をどう巻き込んでいくか。
- ・行事に参加しない子のスペースの確保が難しい。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇今日はなにやるの？
- ◇またやりたい！
- ◇嫌だと思ったけど、やってみたら楽しかった。

〈保護者の声〉

- ◇安心して預けておけるので助かる。
- ◇いろいろな経験をさせてもらえてありがたい。

# (軽井沢町立中部小学校)「中地区児童館」

## 事業実施状況

担当課・係	軽井沢町教育委員会 こども教育課児童係	
主な活動場所	中地区児童館 中部小学校校庭及び体育館	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校 1～6 年生	
実施日等	平日	月曜日～金曜日 放課後～18時
	土日	児童館としてのみ開館
	長期休業	夏休み10日間、春休み7日間
帰宅方法	保護者の責任において お迎え・自力帰宅・バス	
負担金	なし	
登録者数	374人(一日平均 140人参加)	



### 【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	5
協働活動サポーター	6	特別支援サポーター	0
ボランティア	0		

### 【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	—	学習活動の特徴	自主学习	—
	学校支援	○		学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型	—	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	○		他団体、組織	○

## 活動内容

○登校日は毎日開室。来館した児童はまず宿題にとりかかり、学習の済んだ児童から、遊戯室、図書室、多目的室小学校校庭などで自由に遊ぶ。年末には来館児童全員で遊具の拭き掃除を行う。

○体験教室は月1回のペースで行っている。地域の方々に講師として来ていただき、スポーツや文化活動など、異年齢の関わりを大切に実施している。(全員参加のものもあるが、多くは事前申し込み制)

- ・SC軽井沢に講師依頼をして実施 : 子ども体育塾・サッカー教室
- ・地域の方に講師依頼をして実施 : バルーンアートに挑戦・マジックを見よう・ヨガ教室  
・自然物を使って工作しよう・ボディーパーカッション  
・ニュースポーツ・ブローライフル・ミニ音楽会  
・プラバン工作
- ・児童館職員だけの取り組み : セタかざり・シャボン玉・豆まき・紙飛行機を作って飛ばそう

## 気づいたことや成果

○子どもたちの安全で安心な居場所として、長期休業を除けばほぼ毎日140～150名の子どもが利用し、活気に満ちている。利用人数が多い割りに大きな怪我や問題もなくここまで来ている。  
○集団での遊び小さいざござなどの中で、相手に配慮するなど子ども達に成長が感じられる。

## 課題や反省点

・利用児童数が多い日は190名を超えることもあり、トラブルも頻発し、今後は適正な指導等を模索して対応していく必要がある。  
・自由に遊びたい、家で宿題をしたくないなどの理由で体験教室に参加しない児童が出てきている。体験教室の進め方を再考していく必要を感じる。

## 子ども・保護者の声

### 〈子どもの声〉

- ◇友達と遊べて楽しい。家では一輪車とかサッカーとかできないことが、児童館だとできる。
- ◇勉強を見てもらえるからうれしい。児童館だと集中できるけど家にいるとやる気が出ない。
- ◇先生と遊べるのがうれしい。大縄跳びとか縄を回してもらえるからうまく跳べるようになった。

### 〈保護者の声〉

- ◇児童館に来ていると、その時間だけでも子どもがゲームから離れていられるのでありがたい。
- ◇宿題を済ませて帰るので、宿題の習慣づけとなり助かっている。
- ◇児童館にしていると安心して働けてありがたい。

(立科町立立科小学校)「立科町放課後子ども教室」



事業実施状況

担当課・係	立科町教育委員会 子育て教育係
主な活動場所	児童館
	エアコンの設置(有・無)
対象児童	小学校1～6年生
実施日等	平日 教室毎の開催曜日 放課後午後3時～5時
	土日 毎月1回 午前10時～午前12時
	長期休業 夏休み9日間、春休み4日間
帰宅方法	保護者の迎え
負担金	なし
登録者数	登録は1教室、他はフリー参加 (教室1回平均17人参加)

【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)		協働活動支援員	
協働活動サポーター	53	特別支援サポーター	
ボランティア			

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援			学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型		その他の連携	保護者	
	プログラム型	○		他団体、組織	○

活動内容

- プログラム型の活動として地域人材を講師として登録し、各種教室を開催している。
  - 学習・スポーツ教室(年32回 学習支援やさまざまな運動遊びやスポーツ活動を行う。)
  - わくわく教室(年37回 季節の行事・内容を取り入れた制作や遊びを行う。)
  - 文化伝承教室(年41回 囲碁や将棋で遊ぶ。)
  - アートチャレンジ教室(年20回 木工や工芸を体験する。)
  - 茶道教室(年4回 茶道の礼儀作法を学ぶ。)
- その他、ビーズ教室、エコ教室、手話教室、レクリエーション教室など

気づいたことや成果

- 遊びや学習時間を自分で選択し構成することで、見通しをもって活動する力が育ってきている。
- 他学年や他学級の児童との遊びを通して、人と関わる力が伸びてきている。
- さまざまな教室での体験により、児童が多様な体験をすることが可能となっている。

課題や反省点

- ・講師の高齢化が進み、引き受けてくださる方が減少している。それにともない、教室を開催できない内容も生じている。
- ・遊びや人との関係をつくりだす力の弱い児童の増加傾向がみられ、固定された関係での活動にとまなう問題が見られるようになってきていること。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇友だちと一緒に遊べてうれしい。家に帰ると、家が離れていてなかなか友達と遊べない。
- ◇いろいろな活動ができて楽しい。

〈保護者の声〉

- ◇安心して放課後過ごさせる場所があり、ありがたい。
- ◇さまざまな教室が用意されており、いろいろな体験に参加できることを子どもが楽しみにしている。

# (岡谷市立長地小学校)「おさっちあ」

## 事業実施状況



担当課・係	岡谷教育委員会 生涯学習課社会教育担当	
主な活動場所	岡谷市立長地小学校	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	水曜日(月1回程度) 放課後午後3時30分～5時
	土日	-
	長期休業	-
帰宅方法	保護者のお迎え	
負担金	なし	
登録者数	216人(1回あたり平均186人参加)	

### 【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	2	協働活動支援員	-
協働活動サポーター	-	特別支援サポーター	-
ボランティア	50	(登録者数。1回あたり平均 20人配置)	

### 【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	-		学習支援	-
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	-
	プログラム型	-		他団体、組織	○

## 活動内容

- 登録制(年度当初に募集、随時登録可能)
- 地元地区の協力により、年間を通して地域住民がボランティアスタッフとして運営に協力
- 子どもの自主性を尊重し、毎回異なるさまざまなプログラムの中から児童が活動内容を選択
- 地域住民との世代間交流や異年齢の子ども同士の交流を重視
- 主なプログラム
  - ・体育館での自由遊び…ボール、縄跳び等
  - ・工作…ぶんぶんこま、糸電話、折り紙、毛糸、凧、ブーメラン、バルーンアート、紙飛行機、リース等
  - ・昔ながらの遊び…凧あげ、羽根つき、けん玉
  - ・交流…岡谷東部中学校合唱部、岡谷南高校英語部、岡谷南高校理科部
  - ・その他…調理実習、人権教育、マジック、読み聞かせ、宿題

## 気づいたことや成果

- 設立以来、毎回、児童に遊びたい内容を選択させるスタイルを取ることにより、スタッフが用意した素材を利用して、子どもが自分で遊び方を見つけて自主的に楽しむ姿が特長となっている。
- 地元地区の協力により、多くの地域住民が楽しみながら運営に参画しており、岡谷市が推進する「地域住民による子育て」が実現している。

## 課題や反省点

- 活動内容の選択や会場間の移動などについて自由度が高く、開放的な雰囲気運営されている反面、登録児童の多さもあいまって、集合時など児童を統率する際に、スタッフが苦慮する場面が見られる。
- 登録児童が増加傾向にあるため、児童の安全管理には細心の注意を払っている。

## 子ども・保護者の声

### 〈子どもの声〉

- ◇いろいろな教室があって、いろんな人といっぱい遊べて楽しかった。
- ◇おさっちあに参加して、友達が増えてうれしかった。
- ◇おさっちあで宿題もがんばれてよかった。
- ◇来年もおさっちあに入りたい。

### 〈保護者の声〉

- ◇毎回、おさっちあで体験したことやお友達の様子を話してくれてうれしい。
- ◇本人にとって、おさっちあでの経験がとても自信になっているように感じる。
- ◇おさっちあに参加するようになって、年下の子に対する優しい気持ちが見られるようになった。

## 下諏訪町立下諏訪南小学校子ども教室

### 事業実施状況

担当課・係	下諏訪町教育委員会 教育こども課子育て支援係	
主な活動場所	下諏訪南小学校体育館	
	エアコンの設置(有・無)	
対象児童	小学校1年生～6年生	
実施日等	平日	毎週水曜日下校時～17時
	土日	なし
	長期休業	なし
帰宅方法	お迎えもしくは集団下校	
負担金	なし	
登録者数	332人(一日平均152人参加)	



### 【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	1
協働活動サポーター	10	特別支援サポーター	0
ボランティア	2		

### 【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	—		他団体、組織	—

### 活動内容

- 毎週水曜日に、いつもの学校の体育館が、放課後子ども教室に変身します。
- 体育館ロビーには自主学习用のテーブル、スタッフお手製の万力付き工作机が配置され、のこぎり、とんかち、グルーガンなどで自由に木工作業を楽しめます。  
平成29年からは手芸コーナーも設けています。
- バドミントンや、けん玉、大道芸の先生も参加し、ジャグリングなどは本格的な道具で体験しています。
- 特徴としては、開かれた多彩な遊びの場に、飛び込みやすいようにスタッフが声掛けを行う点が挙げられます。1回参加しただけでは全てを体験できない教室に、繰り返し毎週参加する中で、自分の世界を作って、楽しんでいます。

### 気づいたことや成果

- けん玉や、一輪車、手芸など、昔の遊びは大人が考えるよりも人気があるものの、指導者に恵まれないと楽しむこと自体が、難しいようです。当町では、指導資格を持つスタッフが在籍しており、遊びやすくなっています。
- 木工作業などは遊び「慣れ」たお子さんが多く、材料を渡せば、もくもくと設計図無しに自由に好きなものを作り出します。
- 町中でスタッフとすれ違くと、「水曜日の〇〇さんこんにちは」とお子さんが自発的に声をかけてくれるようになりました。

### 課題や反省点

- ・ 10年前の立ち上げから、年数が経過していることもあり、指導者の中には体力の限界を感じていらっしゃる方も多いようです。
- ・ 教室からの情報発信の方法が難しい点もあります。  
ルール確認の通知などは行っても、なかなか、周知が進みません。お迎えの際にお話し等を進めて、トラブルは減りましたが、これからの課題と考えます。

### 子ども・保護者の声

#### 〈子どもの声〉

- ◇ 工作が楽しく、運動はバドミントンの先生(スタッフ)がいて、すぐ時間が終わってしまうのが悲しい。
- ◇ けん玉がとても好きになれた。毎週教えてもらっている。

#### 〈保護者の声〉

- ◇ 学校懇談会や家庭訪問の日などに実施があるので、遊ぶ場所に困っていたが、放課後子ども教室があるので助かっている。
- ◇ お迎えに行ってもなかなか帰ろうとしないところを見ると、楽しいことがよくわかる。

## (原村立原小学校)「原っ子広場」

### 事業実施状況

担当課・係	原村教育委員会 教育課生涯学習係	
主な活動場所	原小学校校庭や公民館など	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週月～金曜日の登校日 下校時～午後5時
	土日	無
	長期休業	無
帰宅方法	徒歩、迎え	
負担金	保険料800円	
登録者数	230人(一日平均70人参加)	



### 【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	
協働活動サポーター	5	特別支援サポーター	
ボランティア	2		

### 【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援			学習支援	
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	
	プログラム型			他団体、組織	

### 活動内容

- 中央公民館を拠点として、隣の社会体育館・小学校校庭を利用し、月曜日から金曜日までの下校から午後5時まで開設している。
- 宿題は拠点場所の空き部屋で行っている。
- 室内では、囲碁・将棋・トランプ・チェス・ウノ・工作・読書などの活動
- 小学校校庭や社会体育館では、サッカー・ドッジボール・野球・縄跳び・フラフープ・鬼ごっこなどのスポーツ活動を自主的に行っている。
- 図書館で行われているお話会に参加(希望者)

### 気づいたことや成果

- 日が経つにつれ、学年を越えた交流ができて、子どもたちの成長がみられる。
- 学校と違い、自由にのびのびと遊んでいて楽しそう。

### 課題や反省点

- ・利用者が年々増加して、活動場所が手狭になってきている。また、限られた職員では、全ての子に目が行き届かない場合がある。
- ・勝手に活動しているなど、ルールを守らないでトラブルとなることがある。
- ・地域の人に協力してもらい、活動体験の機会を設けていきたい。

### 子ども・保護者の声

#### 〈子どもの声〉

- ◇行くのがとても楽しみ。
- ◇体育館や校庭で思いっきり遊べてうれしい。

#### 〈保護者の声〉

- ◇先生がしっかり見守ってくれているので、安心して利用できる。
- ◇学年をこえて友達ができてよい。



(伊那市立西春近北小学校)「にしはる学習タイム」

事業実施状況

担当課・係	伊那市教育委員会 学校教育課教育総務係	
主な活動場所	学校	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校 5年 6年	
実施日等	平日	毎週水曜日 放課後午後3時40分～4時40分
	土日	なし
	長期休業	なし
帰宅方法	家人の迎え	
負担金	なし	
登録者数	11人(5年3名 6年8名)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)		協働活動支援員	
協働活動サポーター		特別支援サポーター	
ボランティア	4		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	—	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	—		学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	—		他団体、組織	—

活動内容

- 参加児童一人ひとりが、国語と算数において、「漢字が苦手なので1年生の漢字から練習し直したい」「計算ミスが多いので、この時間を使ってたくさんの問題に取り組みたい」など、自分が取り組みたい課題について学級担任と相談して決定する。
- 「ドリル問題の反復」「文章題プリント」「漢字プリント」など、子ども一人ひとりの課題に見合った学習内容を学級担任と決めだす。学級担任は、「にしはる学習タイム」実施日には一人ひとりの課題に即した課題(ドリルやプリント)を用意する。
- 放課後学習支援の時間には、4名の支援員さんが一人ひとりに対して個別指導を行う。
- 学習時間は1時間。全員であいさつをして、帰宅。帰宅方法は下校時刻後のため家人のお迎えになっている。

気づいたことや成果

- 子どもたち一人ひとりがどのような点に苦手意識や課題意識を持っているのかを担当はつかみやすく、実態に即した学習材を用意することで、児童の課題克服の一助となっている。
- 11名の児童に対して4名の支援員さんの指導が受けられるので具体的でわかりやすく、児童も熱心に学習する姿が見られるようになった。

課題や反省点

- ・実施日が水曜日で、職員会議があることが多く、短い時間で担任と支援員さんとの間で打ち合わせができていく。
- ・児童の課題設定をきめ細やかに行うことができず、一度決めた課題のままになってしまうこともあり、学習材もワンパターンになり、学習意欲がそがれてしまう。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇わからない問題があっても、一対一でやさしくていねいに教えてくださり、自分から「もっと問題に挑戦しよう」という気持ちになった。
- ◇静かな場所でじっくり学習に向かうことができた。支援員の先生方の教え方もわかりやすくて、学習が楽しかった。

〈保護者の声〉

- ◇放課後の時間をたとえ1時間でも有効に使えることから、今後も積極的に利用させたいと思う。
- ◇地域の方が地域の子どもの学習を教えてくださいと感謝したい。子どもも学習が楽しいと言っている。

(駒ヶ根市立赤穂東小学校)「すずらん寺子屋塾」

事業実施状況

担当課・係	駒ヶ根市教育委員会 子ども課学校教育係	
主な活動場所	赤穂東小学校	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校4～6年生	
実施日等	平日	毎週水曜日 午後3:45～4:15
	土日	なし
	長期休業	夏休み4日間
帰宅方法	徒 歩	
負担金	な し	
登録者数	約60人	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	協働活動支援員	4
協働活動サポーター	特別支援サポーター	
ボランティア		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	—	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	—		学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	—		他団体、組織	—

活動内容

- 毎週水曜日(学校行事のない時)、4～6年生の希望者が放課後30分支援員の方に見てもらって学習する。
- 4・5・6年と教室を分かれ、それぞれ違う支援員さんがついて、分からないところを教えてもらったり、質問をしたりして学習を進める。
- 学習の内容は各自で決める。(学校で用意しない。)宿題や、その日の授業で分からないところなどに取り組む児童が多い。
- 夏休みは4日間で、それぞれ1時間。

気づいたことや成果

- 週に一度だけだが、放課後の時間を有効に活用できている。
- 職員会議の日なので、支援員さんに支援に入ってもらえることで実施が可能である。(水曜日以外は下校時刻が遅いため実施できない。)

課題や反省点

- ・担任からみて、この子は放課後学習をしてほしいという児童には勧めているが、本人(保護者)が希望しないことには参加してもらうことができない。
- ・分からないところをもっと積極的に質問等できるとよいと思うが、放課後学習の時間は職員がついていられるわけではないので、支援員さんにお任せ状態である。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇学校で宿題をやって行かれるので、嬉しい。家での時間がたくさん使える。
- ◇家でやるより、夏休み帳をどんどん進めることができ、とても嬉しい。

〈保護者の声〉

- ◇学校で宿題をやって来てくれるので、とてもありがたい。
- ◇夏休みの課題をやれるので、とてもいい。

## (飯島町立七久保小学校)「七久保子ども広場」

### 事業実施状況

担当課・係	飯島町教育委員会	
主な活動場所	七久保小学校体育館	
	エアコンの設置(有・無)	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週水曜日 放課後午後3～5時
	土日	無
	長期休業	夏休み15日間
帰宅方法	一般児童と同じ	
負担金	なし	
登録者数	45人(平均20人)	



### 【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	0
協働活動サポーター	9	特別支援サポーター	0
ボランティア	0		

### 【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	—		他団体、組織	—

### 活動内容

- 毎週水曜日放課後活動しております。
- 七久保小学校学童クラブと合同で体育館遊び等を行っております。
- 学校から帰ってくるとまず宿題をします。
- 体育館で卓球、キックベース、バドミントンなどを行っております。
- 絵を描いたり、将棋等やっています。
- 夏休みは午前中に行い、宿題や遊び等をやっています。

### 気づいたことや成果

- 小学校児童の多くが参加しております。
- 地域の大人がサポーターとして参加しております
- 学年の違う友達ができています。

### 課題や反省点

- サポーターの不足
- サポーター高齢化

### 子ども・保護者の声

#### 〈子どもの声〉

- ◇学校の友達と遊べるので楽しい
- ◇卓球の相手をしてくれてうれしい

#### 〈保護者の声〉

- ◇宿題をやってきてくれるのでありがたい
- ◇無料でうれしい

(中川村立中川東・西小学校)「中川放課後子ども教室」

事業実施状況

担当課・係	中川村教育委員会 社会教育係	
主な活動場所	大草城址公園管理棟	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週水曜日 放課後午後3時30分～5時
	土日	土曜日(月2.3回)希望者のみ 午前10時～午後3時
	長期休業	夏休み(26日)、春休み(18日)
帰宅方法	保護者の迎え	
負担金	保険料800円	
登録者数	49人(一日平均45人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	1
協働活動サポーター	7	特別支援サポーター	
ボランティア			

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	-	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	-		学習支援	-
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	-
	プログラム型	-		他団体、組織	-

活動内容

- 体を動かす(自由遊び・鬼ごっこ・縄跳び・ドッジボール・自然体験活動等)
- ものをつくる(木工工作・ネイチャークラフト等)
- 伝統的な遊びを楽しむ(こま・お手玉・折り紙・だるまさんがころんだ等)
- 季節の行事にふれる(お正月・クリスマス等年中行事に関すること)
- 宿泊体験(放課後子ども教室通学合宿)

気づいたことや成果

- 子どもたちの中で自分の役割分担が身についており、それぞれ自覚を持ちながら活動することができている。高学年が指示を出したり、下級生は高学年を見本にしたりしながら行動している。
- 2校の交流が盛んになり、今後中学で一緒になるにあたり良い機会になっている。
- 公園のゴミ拾いなど自ら進んでできることが増えた。

課題や反省点

- ・児童の増加によるサポーターの不足
- ・スクールバスを利用している西小の児童が今後増えた場合の送迎方法
- ・6年生になってからのリーダー役を不安に思っている5年生もいる。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇いつもの遊びもメンバーが変わると楽しい。
- ◇たくさん友達と遊べて楽しい。

〈保護者の声〉

- ◇東小と西小の子どもたちが交流して仲間が増えてほしい。
- ◇子どもが毎週楽しみにしている。
- ◇通学合宿後は、子どもが家の手伝いをしてくれるようになった。

# 宮田村立宮田小学校・中学校「宮田うめっこ塾」

## 事業実施状況

担当課・係	宮田村教育委員会 学校教育係	
主な活動場所	宮田村民会館	
	エアコンの設置(有)・無)	
対象児童	小学校5～6年生 中学校1～3年生	
実施日等	平日	小学生対象 基礎からの英語 毎週火曜日 基礎からの算数 毎週金曜日 放課後16:30～17:30
	平日	中学生対象 基礎からの数学 毎週水曜日 放課後15:40～16:40
	長期休業	長期休業関係なく毎週実施
帰宅方法	小学生は保護者のお迎え必須 中学生は徒歩で帰宅	
負担金	保険料(保険への加入)	
登録者数	平均7人	



## 【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	2
協働活動サポーター		特別支援サポーター	
ボランティア			

## 【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学習	—
	学校支援	—		学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型	—	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	—		他団体、組織	—

## 活動内容

○小学校5～6年生対象の「基礎からの英語教室」「基礎からの算数教室」と中学生1～3年生対象の「基礎からの数学教室」の3講座を週1回行っています。小学校、中学校で使用している教科書を基本に学習をします。基礎学習が目的になっています。

小学生5～6年生対象

基礎からの英語教室 毎週火曜日 16:30～17:30

基礎からの算数教室 毎週金曜日 16:30～17:30

中学生1～3年生対象

基礎からの数学教室 毎週水曜日 15:40～16:40

## 気づいたことや成果

○週1回行っているのに、年間継続してどれだけの児童生徒が参加してもらえるか心配があったが、ほとんど欠席がなく児童生徒楽しみに来てもらっている。  
○小中学校で使用している教科書を使って授業をしているので、学校の授業と並行して学べていけることで、予習復習学習ができる。

## 課題や反省点

○学校行事と重なり、時間通りに開始できない日がある。放課後ということで、年間で週1回の計画が立てにくい面もある。  
○だいたい決まった児童が参加している。放課後、このような教室があることを知らない児童生徒、保護者が多いので、周知に力をいれたい。通知を配布しただけで終わらず、学校の先生たちへ協力をお願いし連携をとっていきたい。

## 子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

◇授業の問題がスラスラできるようになった。難しく解けなかった事も分かるようになった。応用の考え方が分かるようになった。忘れていた公式を思い出せることができた。

◇復習予習がしっかりできる。早く終われば友達と宿題をやったり楽しかった。

〈保護者の声〉

◇勉強をする空間を作って頂きありがたい。放課後の時間を有意義に使えている。

◇苦手だった教科が好きになると子どもから聞いた。

# (飯田市立丸山小学校)「青空スクール」

## 事業実施状況

担当課・係	飯田市教育委員会 ・学校教育課保健給食係 ・丸山公民館、羽場公民館、東野公民館	
主な活動場所	丸山小学校や公民館など	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	第1・2・3・4水曜日 15:20～16:30
	土日	学期1回土または日曜日 9:00～11:30
	長期休業	
帰宅方法	集団下校	
負担金	年間1,200円	
登録者数	78人(一日平均65人参加)	



### 【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	3	協働活動支援員	
協働活動サポーター	34	特別支援サポーター	
ボランティア			

### 【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	学習活動の特徴	自主学習	
	学校支援		学習支援	
体験活動等の特徴	自由活動型	その他の連携	保護者	○
	プログラム型		他団体、組織	

## 活動内容

第1・2・3・4水曜日と学期第1回土または日曜日にスポーツと体験活動のメニューを計画し、グラウンド、小学校体育館・ミーティングルーム等を利用して実施している。

1日の活動の流れ

#### ■水曜日

- ・15:20 児童集合
- ・15:20～15:25 はじめの会
- ・15:30～16:20 活動(ドッジボール、バドミントン、ミニサッカー、絵はがき等)
- ・16:20～16:30 終わりの会

#### ■土・日曜日

- ・9:00～9:15 はじめの会
- ・9:15～11:20 活動(交流会等)
- ・11:20～11:30 終わりの会
- ・11:35～12:00 保護者懇談会

## 気づいたことや成果

- ・活動を通して児童の成長を感じることができ、高学年が低学年をリードするなどの様子が見られた。
- ・学期末の交流会では保護者が大勢参加してくれた。
- ・大なわとび記録会へ出場した。その際、家族の協力と応援が大きく励みとなった。
- ・学校の協力が得られている。

## 課題や反省点

- ・保護者のスタッフとしての参加がない。

## 子ども・保護者の声

<参加児童から>

- ・みんなと一緒に活動できて楽しかった。
- ・学年のちがう友達がたくさんできてうれしかった。
- ・バドミントンが上手になれてよかったです。

<保護者から>

- ・子どもの時期に覚えるべきことが覚えられ、友達もできてうれしいです。
- ・地域の皆さんに見守られて、ありがたいです。
- ・活動から帰ってくるなり楽しかった報告をしてくれるのが私の楽しみにもなっています。

(松川町立松川北小学校)  
「松川北小学校放課後子ども教室」

事業実施状況

担当課・係	松川町教育委員会 こども課学校教育係	
主な活動場所	松川北小学校	
	エアコンの設置(有)無)	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週火・木曜日 放課後～下校時刻 (高学年は月1回程度 水曜日)
	土日	なし
	長期休業	なし
帰宅方法	一般児童と同じ	
負担金	なし	
登録者数	82人(一日平均40人参加)	



タブレット体験教室の様子

【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)(2校兼務)	1	協働活動支援員	1
協働活動サポーター	5	特別支援サポーター	0
ボランティア	0		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	○		他団体、組織	—

活動内容

- 低学年は週2回、高学年は月1回程度実施している。
- 年に数回児童クラブと合同でのイベントも実施。
- 主な活動内容
  - ・友達と好きな遊びを楽しむ。  
(サッカー、バスケット、縄跳び、鬼ごっこ、折紙、色水遊び、自然に触れた遊び)
  - ・体験教室を通して地域の方々と関わる。(音楽演奏、腹話術など特技を持った方にきていただく)
  - ・季節の行事を楽しむ。(ハロウィン、クリスマス会、お別れ会、子ども屋台)
  - ・製作遊び。(毛糸を使った製作、紙粘土、絵の具で絵画、クリスマス飾り等)
  - ・児童クラブとの合同イベント。(タブレット体験教室、クリスマス会)
  - ・学校の宿題。(分からないところをサポートに教えてもらう)

気づいたことや成果

- 放課後の開放された時間帯にのびのびと活動でき、子どもたちにとって楽しい居場所となっている。
- 遊びを通して学年を超えて楽しむことができる。
- 子どもたちの育ちを様々な方面の大人で見守ることができている。

課題や反省点

- ・活動時間が短いため、講師をお願いしにくく地域との交流の機会を多く作ることが難しい。
- ・学校内の教室を使って実施しているので、学校との連携、連絡は不可欠だが、学校と信頼関係を築く時間が多く取れないことが課題。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇友だちと一緒にいっぱい遊べて楽しかった。
- ◇子ども教室の日が毎回楽しみ。
- ◇子ども教室で思い切り遊べて楽しい。サポーターの先生と色々なスポーツができるのも楽しい。

〈保護者の声〉

- ◇子どもは毎回楽しみにしている。友達と色々な遊び、特に自然に触れた遊びもできてありがたい。
- ◇体験教室でめずらしい事も体験させてもらえてありがたい。

## (高森町立高森南小学校)「南小ふれあいクラブ」

### 事業実施状況

担当課・係	高森町教育委員会 学校教育係	
主な活動場所	南小学校など	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週月～金曜日 下校～16:30(冬季16時)
	土日	なし
	長期休業	夏休み22日間、春休み10日間
帰宅方法	徒歩等	
負担金	平日無料、夏休み3,000円、 春休み2,000円	
登録者数	103人(一日平均50人参加)	



### 【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	協働活動支援員	8
協働活動サポーター	特別支援サポーター	
ボランティア		

### 【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	—		他団体、組織	—

### 活動内容

○支援員の先生による宿題の見守りや、読み聞かせなどを行っている。  
○夏休みなどの長期休業などは、町図書館が開催している「お楽しみ教室」への参加や、年度によっては天竜川への自然観察などを実施している。

○現在、旧給食センターを改築し、学童クラブの新しい施設を整備中である。今後は、いっそうの活性化が見込まれる。

### 気づいたことや成果

○異学年との交流が進んでいる。授業とは違う雰囲気の中で、子どもたちの社会性が育まれている。

### 課題や反省点

・子どもたちには、様々な悩み事を抱えている場合もあり、学校からもその情報を出しにくい。そのため、支援の先生にとっても悩んでしまうことがあるが、学校からも出せる範囲の情報を頂くような交換会を開催して頂き、日頃から情報共有を図っている。  
・ただし、このような制度はあまり深くやりすぎると、家庭の自助力を奪ってしまうこともあり、その見極めが難しい。

### 子ども・保護者の声

#### 〈子どもの声〉

◇いつもとは違う友だちと知り合うことができる。時には遊びだけでなく、高学年のお兄さんやお姉さんに宿題を教えてもらうこともある。

#### 〈保護者の声〉

◇遅くまで見て頂くことで、特に仕事をしながら子育てを行っている場合には、大変助かっている。



## (阿智村立浪合小学校)「浪合子ども教室」

### 事業実施状況



担当課・係	阿智村教育委員会	
主な活動場所	浪合グラウンドや浪合公民館など	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週木曜日 放課後午後4～6時
	土日	不定期
	長期休業	
帰宅方法	保護者の迎え	
負担金	なし	
登録者数	26人(一日平均11人参加)	

### 【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	4
協働活動サポーター	2	特別支援サポーター	
ボランティア	2		

### 【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援			学習支援	
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	○
	プログラム型	○		他団体、組織	○

### 活動内容

○浪合小学校グラウンド・体育館や浪合グラウンド・浪合公民館を利用し、地域住民を指導者に迎え、学習・スポーツ活動を行い、心身の向上を図っている。

○英会話教室

○スポーツ活動(サッカー、ソフトテニス)

### 気づいたことや成果

○学年にあった活動ができるよう工夫しながら行っている。

○活動を通じルールや社会性を身につけることができている。

### 課題や反省点

・指導者等の確保。

・教室数の減少。

・地元のことを学べる活動を取り入れる。

### 子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

◇みんなと楽しくスポーツができ、きずなが深まる。

◇課題を見つけながら向上できる。

〈保護者の声〉

◇共働きであるのでこういう活動はありがたく、継続していただきたい。

◇子供たちが楽しみにしている。

# 根羽村立根羽小学校

## 事業実施状況



担当課・係	根羽村教育委員会学校教育係	
主な活動場所	根羽村保育所	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	下校～午後6時
	土日	実施なし
	長期休業	夏休み12日間、春休み10日間
帰宅方法	保護者によるお迎え	
負担金	なし	
登録者数	20人(一日平均7人参加)	

### 【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	1
協働活動サポーター	1	特別支援サポーター	0
ボランティア	0		

### 【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	-	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	-		学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	-
	プログラム型	○		他団体、組織	-

## 活動内容

- 英語教室(週1回)、お茶教室(隔週)、宿題、ボール遊び等
- 英語教室:ALTの先生による遊びを交えた英語の授業
- お茶教室:茶道の先生による茶道の所作の授業

## 気づいたことや成果

- その年によって利用者の利用状況が大きく変わる。H29年度は前年度比で約5倍の利用日数になった。
- ALTを活用するため、ALTによる英語教室を平成30年度から始めた。授業とは違い英語遊びなので、日常会話としての英語が身につく。

## 課題や反省点

- ・長期休業の際、放課後子ども教室の実施時間が午後1時半までなので、日中両親が仕事をしている場合に午後6時まで預かってほしいとの声があるが、スタッフの確保が難しい。
- ・平日のお迎えが午後6時を過ぎてしまいがちな保護者がいる。

## 子ども・保護者の声

### 〈子どもの声〉

- ◇みんなと遊べて楽しい
- ◇近くに田んぼがあるので、虫を捕まえたりするのが楽しい

### 〈保護者の声〉

- ◇夏休み期間中に多くの体験プログラムを実施してくれてありがたい
- ◇共働きなので預かってくれて助かる

## (売木村立売木小中学校)「うるぎふれあい教室」

### 事業実施状況

担当課・係	売木村教育委員会	
主な活動場所	売木村文化交流センター図書室	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1年～中学生	
実施日等	平日	毎日 放課後午後3時30～5時30分
	土日	なし
	長期休業	夏休み14日間、春休み10日間
帰宅方法	保護者の迎え	
負担金	保険800円	
登録者数	17人(一日平均4人参加)	



### 【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	1
協働活動サポーター	1	特別支援サポーター	
ボランティア			

### 【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	—	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	○
	プログラム型	—		他団体、組織	○

### 活動内容

- 放課後支援(宿題・読書・自由遊び等)
- 長期休業(夏休み・年末年始・春休み)・振替休日等支援
- 文化継承 \* 郷土食の継承
  - ・ほうば餅・五平餅
- 体験活動
  - ・水生生物調査(行政と共催) \* 11年目
  - ・ウォーキング・相撲教室等
- 異世代交流
  - ・社会協議福祉会と連携。生きがい活動の中に組み込み、文化伝承と交流を。

### 気づいたことや成果

- 大きな声であいさつができるようになった。
- 文化継承など毎年参加している児童は、手際よくできるようになった。

### 課題や反省点

- 文化継承や体験活動の参加者が増えるとうい。
- 固定化している。

### 子ども・保護者の声

#### 〈子どもの声〉

- ◇友達と遊べる。
- ◇自分で作ったほうば餅はおいしかった。また作りたい。

#### 〈保護者の声〉

- ◇参加することで、ゲーム・テレビで過ごすことが減った。

(天龍村立天龍小学校)「天龍村放課後子ども教室」

事業実施状況

担当課・係	天龍村教育委員会 教育係	
主な活動場所	天龍小学校	
	エアコンの設置(有・無)	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	※振替休日のみ 8時半～16時半
	土日	なし
	長期休業	夏休み14日間、春休み3日間
帰宅方法	徒歩	
負担金	なし	
登録者数	19人(一日平均15人参加)	



【スタッフ(人数)】 《読み聞かせ教室》

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	1
協働活動サポーター	1	特別支援サポーター	
ボランティア			

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ		学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	○		学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	○
	プログラム型	○		他団体、組織	○

活動内容

- 基本的には長期休業の土日祝日を除く平日に活動を行っています。
- 午前中は自主学习、午後は体験学習やレクリエーションを行って過ごしています。
- 今年度の体験学習は「PPバンドによる籠作り」や「絵手紙教室」、「読み聞かせ教室」を開催しました。各教室、村内の方に講師になっていただき、児童⇄講師それぞれの良い刺激になっていました。

気づいたことや成果

○講師の方が児童に教えるだけでなく、講師の方も、普段接点のない村内の子ども達との関わりができ、とても満足した様子であった。

課題や反省点

- ・支援者を募集したが、なかなか応募していただける方がいなかった。しかし、最初は不安だった支援者も、実際に活動をしていくと大変勉強になったと満足してもらえた。実際に体験を通して、本教室に支援していただける方の輪を広げていきたい。
- ・連絡不行き届き等、調整が上手くいかなかったことがあったため、徹底したい。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇籠作りは難しかったけど、だんだん慣れてくるとスムーズにできるようになった。初めての体験ができてよかった。
- ◇夏休みでも友達と遊べてよかった。

〈保護者の声〉

- ◇平日は家に大人が不在になるため、子どもの居場所があり、ありがたい。
- ◇こうした教室があるため、長期休業だからといって、なまけることなく日々の生活が送れていて、長期休業空けにも子どもはスムーズに対応できていた。

# 泰阜村立泰阜小学校

## 事業実施状況



担当課・係	泰阜村教育委員会 教育振興係	
主な活動場所	泰阜小学校や総合体育館など	
	エアコンの設置(有 <del>(無)</del> )	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週水曜日 放課後午後3～5時 月に1回午後7～8時30分
	土日	なし
	長期休業	
帰宅方法	一般児童と同じ	
負担金	なし	
登録者数	79人(一日平均15人参加)	

### 【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	12
協働活動サポーター		特別支援サポーター	
ボランティア			

### 【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学習	—
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	○
	プログラム型	○		他団体、組織	—

## 活動内容

### ○外遊び(陸上、ドッチボール、相撲など)

・毎週水曜日に、小学校グラウンドを中心に支援員が見守る中、運動中心に行われる。支援員は元体育指導員、元教員がマラソン、短中距離の指導(飯伊記録会や小学生駅伝参加)相撲指導(わんぱく相撲参加)。大会という目標を作ることで、子どもたちは真剣に取り組んでいる。

### ○室内遊び(太鼓、読み聞かせ、図工、読書など)

- ・支援員による読み聞かせ、紙飛行機づくり、折り紙、工作を楽しんでいる。
- ・太鼓クラブ代表の方が指導(音楽発表会では曲を披露する)

### ○親子スポーツ(軽スポーツを親子で楽しむ: 囲碁ボール、縄跳び、キンボール、ティーボールなど)

・月に1回、体育指導員のもと、親子でいろいろな運動にチャレンジしている。1年間の計画は体育指導員と話し合い、低学年から高学年まで「体を動かすことは楽しい」を目標に活動している。

## 気づいたことや成果

- ただの預かりではなく、陸上大会に参加する、わんぱく相撲に出場する、太鼓を発表するという目標をつくと、子どもは真剣に取り組む。
- 大人も大会に出場することで、子どもの指導方法を勉強する。

## 課題や反省点

- ・運動の苦手な子どもは、大会出場というと嫌がって外に出てこなくなる。運動する子、しない子に差がでる。
- ・親子スポーツは親のいない家庭の子は出にくい。

## 子ども・保護者の声

### 〈子どもの声〉

- ◇みんなで走ると陸上は楽しい。市町村対抗駅伝にいつかは村の代表として出てみたい。
- ◇わんぱく相撲に出場しても負けてばかりだけど、御嶽海のように強くなりたい。

### 〈保護者の声〉

- ◇子どもが相撲を頑張っていてうれしい。支援員の方が簡単な土俵をつくり、指導も熱が入っている。ありがたい。
- ◇運動の嫌いなうちの子が親子スポーツは行くという。スポーツ推進委員さんがたくさんいて、子どもをすごくほめてくれる。

(喬木村立喬木第二小学校)「たかぎ第二子ども教室」

事業実施状況

担当課・係	喬木村教育委員会 子ども教育係	
主な活動場所	喬木村立喬木第二小学校	
	エアコンの設置(有・無)	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	月～金曜日 放課後～午後4:30
	土日	—
	長期休業	—
帰宅方法	一般児童と同じ	
負担金	保険料 1人800円	
登録者数	34人(一日平均25人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	
協働活動サポーター	3	特別支援サポーター	
ボランティア			

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	○		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	—		他団体、組織	○

活動内容

- 月～金曜日 宿題  
自由遊び:読書、自由工作  
室内遊び(一輪車・バドミントンなど)  
屋外遊び(サッカー・ドッジボールなど)
- 1回/年 体験活動:木工教室(My箸づくり、ネームプレートづくり)
- 1回/2～3ヶ月 遊びの広場:季節の工作、クイズ、クリスマス会、軽スポーツ
- 他事業との連携:子ども教室のコーディネーターが学校運営協議会の委員である。  
協働活動サポーターの一人が学校支援員を兼務している。
- その他連携 :木工教室では、飯伊森林組合の方を講師に招いた。  
遊びの広場では、たかぎスポーツクラブに講師を依頼することがある。

気づいたことや成果

- 1～6年生までの子ども達と一緒に遊ぶため、全学年が顔見知りで縦のつながりができた。
- 平日は毎日活動しているので、子ども達が自主的に取り組むことができるようになった。

課題や反省点

- ・活動のマナー化。
- ・活動内容の充実、協力団体への呼びかけ。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇放課後に学校で遊んでから帰ることができるので楽しい。
- ◇みんなで宿題ができるから、すぐに宿題を終わらせることができる。

〈保護者の声〉

- ◇友達の家まで距離があるので、放課後にそのまま遊ばせてもらえて楽しんでいる。
- ◇友達と宿題をする時間ができて、自主的に宿題をする習慣が身についたように思う。

# (木曾町立日義小学校) 放課後子ども教室 「くすくす」

## 事業実施状況

担当課・係	木曾町教育委員会日義教育事務所	
主な活動場所	日義保健センター	
	エアコンの設置(有 <del>・無</del> )	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	放課後午後3～6時
	土日	なし
	長期休業	夏休み15日間、春休み13日間
帰宅方法	保護者迎え	
負担金	50円(おやつ代)	
登録者数	78人(一日平均25人参加)	



### 【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	5
協働活動サポーター	5	特別支援サポーター	
ボランティア			

### 【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	—	学習活動の特徴	自主学習	○
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	—		他団体、組織	—

## 活動内容

- 宿題(宿題は子どもたちの意思で自主的に行う)
- 自由遊び(工作・折り紙・ぬり絵・公民館ホールでの遊び等)
- 長期休暇や振替休日等は開催時間も長いためイベントを企画  
夏休みは流しそうめんやプラネタリウム観賞、交通安全教育、学習会などを実施  
その他にクリスマス会、本の読み聞かせ、6年生のお別れ会などを実施予定

## 気づいたことや成果

- できなかった事ができるようになったり子どもたちの日々の成長を感じることができる
- 放課後の子どもたちの居場所として定着し、特に低学年の利用が増加している

## 課題や反省点

- ・スタッフの人員がぎりぎりであり、新しいスタッフの確保もできていないのでスタッフの確保が課題
- ・支援を必要とする児童などスタッフと児童の関わり方を学校と密に情報を共有することが必要

## 子ども・保護者の声

### 〈子どもの声〉

- ◇おやつが楽しみ
- ◇みんなで遊べるのが楽しい

### 〈保護者の声〉

- ◇放課後の子どもの居場所があり助かっている
- ◇宿題の面倒を見てくれるので助かる

## (上松町立上松小学校)「きっこう」

### 事業実施状況

担当課・係	上松町教育委員会 子育て支援係	
主な活動場所	上松小学校や公民館など	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週月～金曜日 放課後午後3～5時
	土日	無
	長期休業	夏休み5日間、春休み5日間
帰宅方法	下校または保護者の迎え	
負担金	原則はなし (特別活動の時に実費負担)	
登録者数	103人(一日平均43人参加)	



### 【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	3
協働活動サポーター	2	特別支援サポーター	2
ボランティア			

### 【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	—		他団体、組織	○

### 活動内容

- 月に1回 制作あそび(こいのぼり、七夕飾り、紙ひこうき、牛乳パックでおもちゃ作り、プラ板づくり、スライムづくり)
- 夏休みに特別活動で『宿題をやろう』…2日間  
公民館の図書室と共催で『パネルシアターと錯視図形作り』…1日  
調理実習『デコレーション寿司を作ろう』…1日 町の管理栄養士、食改善推進委員会の協力  
ニュースポーツ『体を動かしてゲームを楽しもう』…1日 スポーツ推進委員の先生の協力
- クリスマス会…公民館森の寺子屋と共催

### 気づいたことや成果

- 体を動かして遊ぶことが好きな様子で、教室にいるより、校庭や体育館で遊ぶことが多い。
- 登録人数が多く、1～6年生までが共同生活しているので、異年齢の関わりがある。

### 課題や反省点

- ・体育館でバドミントンやボール遊びが、入れ替わりだったり、たくさんの友達がいると、片付けを他の友達になすりつけてしまいおそろかになってしまうところがある。
- ・たくさん集まる時には教室が狭いこともあったり、学年で入室時間が違うので、活動を計画するのに考える。
- ・スタッフの話聞きいれてもらえないことがある。

### 子ども・保護者の声

#### 〈子どもの声〉

- ◇工作が楽しい。
- ◇おりがみがいろいろ折れるようになって楽しい。
- ◇バドミントンをするのが楽しい。

#### 〈保護者の声〉

- ◇友達と一緒に過ごし宿題も済ませてくれるので、働く親としては、帰宅してからの時間に余裕があつていい。
- ◇特別活動で子どもが楽しみな活動をしてくれるので喜んで参加している。



# (南木曾町立南木曾小学校)「なぎそっこ」

## 事業実施状況

担当課・係	南木曾町教育委員会 子どもすくすく係	
主な活動場所	南木曾小学校敷地内建屋	
	エアコンの設置(有・無)	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週月～金曜日 放課後午後15:30～18:30(6限時) ※学校下校時間に準じて変動あり
	土日	—
	長期休業	夏休み15日間、春休み13日間 程度
帰宅方法	保護者の迎えによる	
負担金	年間登録料5,000円	
登録者数	87人(一日平均25～30人参加)	



## 【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	2	協働活動支援員	0
協働活動サポーター	9	特別支援サポーター	1
ボランティア	0		

## 【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	-	学習活動の特徴	自主学習	○
	学校支援	○		学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	-
	プログラム型	○		他団体、組織	-

## 活動内容

### 【平日】

- 自主学習
- 自由活動(体育館・校庭遊び トランプ・ボードゲーム・イラスト・読書・ごっこ遊び・折り紙 等々...)

### 【長期休み】

- 自主学習 ○自由活動 ○DVD鑑賞 ○運動教室 ○人権教室 ○イラスト教室
- 町内施設見学(砂防堤・浄水場見学) ○川遊び

## 気づいたことや成果

- ・学習の時間や遊びの時間の区切りを、視覚的に示してあげると子どもたちに指示が入りやすい。(時計のイラストなどで)
- ・学習→自由活動の流れを、当初は学習に入るまでに時間がかかったが、日々の積み重ねで自主的にできるようになってきた。
- ・多学年の子と交流を持てる。

## 課題や反省点

- ・建屋に1フロアしかない為、(一部の)子どもが落ち着かず騒がしい場合、同じ空間を共有している他の児童(集中して学習などを行いたい児童)の迷惑となっていることがある。
- ・サポーター人員の関係で、サポーターの目が行き届かないところで子ども同士のトラブルになっているケースもあるため、体制や意識に改善・工夫が必要。
- ・長期休みの利用人数が多く、イベントの企画や日々の過ごし方に悩むことがある。イベントを楽しめる子とそうでない子がいるため、配慮が必要。

## 子ども・保護者の声

### 〈子どもの声〉

- ◇教室が騒がしく学習などに集中できない。
- ◇一部の児童が遊び道具を独占してしまう。
- ◇ちょっかいを出してくる子がいて行きたくないと思うこともある。
- ◇イベント等があって楽しい。

### 〈保護者の声〉

- ◇低利用料で利用させていただき助かっている。
- ◇子どもに落ち着きがなく周りの子に迷惑をかけていないか心配。

(王滝村立王滝小学校)「王滝村放課後子ども教室」

事業実施状況

担当課・係	王滝村教育委員会	
主な活動場所	王滝村公民館	
	エアコンの設置(有・無)	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	月曜日～金曜日 放課後午後3～5時30分
	土日	—
	長期休業	夏休み9日間、春休み9日間
帰宅方法	徒歩または保護者が送迎	
負担金	無	
登録者数	20人(一日平均9人参加) ※当村では登録制度は行っていない。 公民館来館児童全員を子ども教室の 対象としている	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	1
協働活動サポーター	9	特別支援サポーター	0
ボランティア	2		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ		学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	○		学習支援	
体験活動等の特徴	自由活動型		その他の連携	保護者	○
	プログラム型	○		他団体、組織	○

活動内容

【平日の活動】

◇宿題及び学習、読書活動

→ 公民館へ来館した児童は宿題を行うよう指導

◇ボール遊び、運動、社会体育(陸上・バドミントン)

→ TVゲームやコンピューターゲームは一切禁止  
月・木(水)は社会体育活動に参加する児童あり

◇郷土食等のおやつづくり

→ 地域のボランティアの指導により王滝村の伝統郷土食やおやつ作りを時折実践

【休日(長期休暇)の活動】

◇宿題及び学習、読書活動

→ 公民館へ来館した児童は宿題を行うよう指導

◇村内及び周辺町村への散策活動

→ 身近な地域を子どものうちから知ること、地域を愛する子どもを育てます

気づいたことや成果

○上級生と下級生の交わりから生まれる成長

: ボールを使った運動や製作活動を通じ異学年の子どもたちが自分たちでルールを決め、工夫をして活動する姿が見られるようになりました

『社会で生きる力の育成』を今後も図っていきます

課題や反省点

▲生活習慣に関する指導

: 整理整頓、活動サポーターの注意をしっかりと聞くなど基本的な生活習慣における指導を行っていく

▲スタッフの研修機会の充実化

: 「子どもの見守り」から「次世代育成」へスタッフの研修機会を確保していきたい

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

○お友だちとたくさん遊べて楽しかった

○手作りおやつは最高に美味しかった

○スタッフの方が勉強を教えてくれて嬉しかった

〈保護者の声〉

○平日など仕事で不在になる時間に様々な体験活動ができてありがたい

▲より長い時間、子どもを預かっていただけるとありがたい

→ 当村では「親子での時間」を大切にしていきたい、今後も保護者の皆さんとの対話を通じてより良い家庭教育支援を検討していきます

# (大桑村立大桑小学校)「みちくさ」

## 事業実施状況

担当課・係	大桑村教育委員会 子育て支援係	
主な活動場所	大桑小学校	
	エアコンの設置(有・無)	
対象児童	全校児童	
実施日等	平日	毎週月～金曜日 放課後16:00～18:30
	土日	なし
	長期休業	夏休み15日間、春休み9日間 7:30～18:30
帰宅方法	保護者迎え	
負担金	3,000円(スポーツ保険料込)	
登録者数	53人(一日平均12人参加)	



### 【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	6
協働活動サポーター	2	特別支援サポーター	
ボランティア			

### 【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	-	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	-		学習支援	-
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	-
	プログラム型	-		他団体、組織	-

## 活動内容

- 児童の自由な遊び、自主学习の見守り
- 地域ボランティアによる卓球教室の開催
- 長期休業:クッキング、工作、散策、DVD上映会の開催

## 気づいたことや成果

- 高学年が低学年の面倒をみるなど、上級生の自覚が生まれ縦のつながりができている
- 学校職員も一緒に遊んでくれたり、安全管理員打合せ会議に教頭に出席依頼し、学校と連携を密にしている

## 課題や反省点

- ・安全管理員の人材確保
- ・子どもの社会性・自主性を育てる内容の活動

## 子ども・保護者の声

### 〈子どもの声〉

- ◇卓球が楽しみ
- ◇イベントで公園へ遊びに行ったのが楽しかった

### 〈保護者の声〉

- ◇共働きなので、長期休業や平日遅くまで預かってもらえてありがたい
- ◇同年齢だけでなく異年齢との交流ができてよい
- ◇宿題を済ませてくれるので助かる

(松本市立奈川小学校)「奈川小学校放課後子ども教室」

事業実施状況

担当課・係	松本市役所 こども育成課児童担当	
主な活動場所	奈川文化センター夢の森 和室、図書室、ホール	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	授業日 放課後午後3時～5時45分
	土日	なし
	長期休業	夏休み5日間
帰宅方法	スクールバス、保護者による送迎	
負担金	スポーツ保険料 800円/年	
登録者数	16人(一日平均7人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	2
協働活動サポーター	3	特別支援サポーター	
ボランティア			

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	-	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	-		学習支援	-
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	-
	プログラム型	-		他団体、組織	-

活動内容

- ・和室
  - 学校の宿題をみる学習支援
  - 折り紙をはじめとする簡単な工作
  - オセロ・将棋・チェスなどの自由遊び 等
- ・図書室
  - 読書
  - ビデオ鑑賞 等
- ・ホール
  - バドミントン
  - ボール遊び 等

気づいたことや成果

- 地域に児童館、児童センターがなく、放課後の居場所が放課後子ども教室のみのため、地域にとってなくてはならない場所になっている。
- 平成29年度は、開催207日、延べ人数で1,871名の子どもたちが放課後子ども教室に参加している。

課題や反省点

- 下校時間変更の連絡がないなど、学校との連絡がうまくいかない部分があった。学校との連携をしっかりとっていきたい。
- 以前はできていた挨拶ができない子がいる。しっかり指導したい。
- 宿題は大人が答えを教えるのではなく、自分の力で答えが出せるよう指導していくべき。

子ども・保護者の声

<こどもの声>

- ・難しい宿題もスタッフと一緒にやると解けるようになった。
- ・スタッフと一緒に遊べて楽しい。職員と友達になった。
- ・夏は部屋の中が暑い…。

<保護者から>

- ・職員の方に日々しっかりと対応していただき大変助かります。
- ・色々なイベントを考えていただき子ども達も楽しんでいました。
- ・長期の休み中のイベントは子ども達も大変楽しみにしています。

# (塩尻市立吉田小学校)「吉田小コミスクゼミ」

## 事業実施状況

担当課・係	塩尻市教育委員会 教育総務課教育企画係	
主な活動場所	吉田地区公民館・吉田西防災 コミュニティセンター(2か所)	
	エアコンの設置(有・無)	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	なし
	土日	なし
	長期休業	夏休み23日間、春休み3日間
帰宅方法	児童館の児童は児童館へ、そ の他は自宅へ	
負担金	なし	
登録者数	357人(一日平均56人参加)	



### 【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	2	協働活動支援員	
協働活動サポーター	10	特別支援サポーター	
ボランティア	47		

### 【特徴・連携等】

他事業と の連携	児童クラブ	○	学習活動の 特徴	自主学习	○
	学校支援	○		学習支援	○
体験活動 等の特徴	自由活動型	○	その他 の連携	保護者	○
	プログラム型	○		他団体、組織	○

## 活動内容

- 吉田小における長期休業中の子どもの居場所づくりとして、吉田小コミュニティ・スクール(学校運営協議会＋地域教育協議会)の中核的な活動として実施した。〈通称:吉田小コミスクゼミ〉
- 夏休みに行うコミスクゼミ(通称:吉田小夏ゼミ)は、夏休み初めから終わりまで土日を除く23日間、10講座を開設し実施した。〈夏休み帳支援、補習、松くい虫、食育、ちご鳥活用、吉田の民話、吉田の歴史、木育、子ども食堂、なんでも話し合い〉
- 丘中学校の生徒(13人＋美術部生徒)や田川高校生徒(7名)、地域の大学生(1名)がボランティアで学習支援や他の活動の支援にあってくれた。
- 「信州子ども食堂」ともコラボし、3日間×2か所(同時)で開催。参加児童は自分たちで昼食を作り、みんなでおしゃべりしながらお昼を楽しんだ。
- 春休み実施の「春ゼミ」は、中学校に進学する6年生を対象に3日間実施。小学校で学ぶ範囲の補習を行う。

## 気づいたことや成果

- 本市吉田地区の最大の特色は人財の豊富さにある。その人的資源を活かし「子どもたちの居場所づくり」「子どもたちと地域の人とのつながりづくり」が進み始めた。
- 単発的ではなく連続して子どもたちと関わり合うことで地域の子どもの様子(良いところと課題)が見えてくる。
- 一番喜んだのは保護者と子どもたちであった。

## 課題や反省点

- ・もう少し早い段階から組織を固め、準備を進めていく必要がある。⇒「春ゼミ2018」と「夏ゼミ2019」に向け、すでに企画委員会を開催した(10月・11月)。
- ・学校職員やPTA(保護者)の理解・支援をもう少し高めたい。⇒企画委員会のメンバーとして入れ、核となって動いていただく。
- ・基本的なルール、社会性、人間性については家庭・学校でもしっかり身につけさせたい。

## 子ども・保護者の声

### 〈子どもの声〉

- ◇(夏休み帳)ボランティアの人が話しやすく、いろいろ聞くことができよかったです。
- ◇(補習)中学生が分かりやすく教えてくれてよかった。
- ◇(地域の歴史)吉田の歴史の質問を気軽に言えてしっかり聞いて返してくれた。知らないことがたくさん知れた。

### 〈保護者の声〉

- ◇(民話の紙芝居作り)友達と色塗りなど楽しめたようです。思いがけず市民タイムスに載って驚きましたが、良い思い出になりました。
- ◇(食育)アレルギーがあり参加を考えましたが、材料を吟味してくださり、おかげさまでおいしくいただけましたようです。食器の片づけなどほめられたと喜んでおりました。関係者の皆さん、大変お世話になりました。

# (安曇野市立堀金小学校)「堀金小わいわいランド」

## 事業実施状況

担当課・係	安曇野市教育委員会 生涯学習課 社会教育担当	
主な活動場所	小学校体育館・校庭	
	エアコンの設置(有 <del>(無)</del> )	
対象児童	小学校1～6年生までの希望者	
実施日等	平日	毎週水曜日 午後2時30分～4時20分
	土日	なし
	長期休業	なし
帰宅方法	徒歩・迎え・児童館	
負担金	なし	
登録者数	164人(1日平均143人参加)	



### 【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	3	協働活動支援員	14
協働活動サポーター	0	特別支援サポーター	0
ボランティア	0		

### 【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	—	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	○		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	—		他団体、組織	—

## 活動内容

- 毎週水曜日の午後実施している。
- 体育館に集合し、自分の名簿欄に○をして名札をつける。終了したら名簿にレ点をつけ名札を返す。
- 始めの会は班ごと整列し遊びの場所や注意事項を確認する。終わりの会は反省を行う。
- 自分で遊びを考え自分で遊ぶことを原則として、わいわいランドを行っている。
- 体育館では、バスケットボール、ドッジボール、バトミントン、縄跳び、フラフープ、鬼ごっこ、ターザンロープ、フリスビー等で遊んでいる。
- 体育館ステージでは、トランプ、囲碁、将棋、オセロ、チェス、紙工作、塗り絵等を行っている。
- 体育館横の廊下ではやりたい子だけ宿題をしている。(強制ではない)
- 校庭ではサッカー、鬼ごっこ、せせらぎでの水遊び、鉄棒やブランコ、シーソーなどの遊具で遊んでいる。
- 10月には整列班対抗ミニ運動会(伝言ゲーム、ボール渡しゲーム、スリッパ飛ばし)を行った。

## 気づいたことや成果

- 子どもたちは大変元気で遊びに参加している。
- わいわいランドは自分で遊びを決めて行うので、少しずつ自主性が育ってきている。
- 遊びに入りたい子が来た時、「いいよ」と言って遊びに入れてあげる子が多くなった。
- 一人でいる子が少なくなり、複数で遊んでいる。

## 課題や反省点

- ・遊びを色々変えるので、用具の片付けがうまくできないことがある。
- ・遊びに夢中になり、周りの子とぶつかってしまうことがあった。始めの会や終わりの会で話をしていきたい。

## 子ども・保護者の声

### 〈子どもの声〉

- ◇わいわいランドは色々なことができて楽しい。
- ◇わいわいランドは自分で好きな遊びができて楽しい。

### 〈保護者の声〉

- ◇わいわいランドは楽しいと言って水曜日を楽しみにしています。
- ◇同じクラスの子が半数入っていて、わいわいランドに入りたいと言われ、途中から入会することにしました。
- ◇スタッフさんが見守ってくれて安心です。

# (麻績村立麻績小学校)「おみっこ元気くらぶ」

## 事業実施状況

担当課・係	麻績村教育委員会 教育委員会	
主な活動場所	麻績小学校体育館や校庭など	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎月2回程度 水曜日 放課後午後3時半～4時
	土日	なし
	長期休業	夏休み3日間、春休み1日間
帰宅方法	保護者による送迎	
負担金		
登録者数	67人	



### 【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)		協働活動支援員	
協働活動サポーター		特別支援サポーター	
ボランティア		教育委員会・公民館	5

### 【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	-	学習活動の特徴	自主学习	-
	学校支援			学習支援	-
体験活動等の特徴	自由活動型	-	その他の連携	保護者	○
	プログラム型	○		他団体、組織	○

## 活動内容

- 今年度は17回実施予定 毎月1～2回程度の実施 水曜日の放課後15時半から16時まで実施
- 内容はミニゲーム、体づくり、工作、ニュースポーツの4項目で展開
- ミニゲーム(自己紹介ゲーム・鬼ごっこなど)  
体づくり(走り方教室・ウォーキングサッカー・ベースボール型ゲームなど)  
工作(カレンダーづくり・ランプシェードづくりなど)  
ニュースポーツ(スポーツリバーシ・ダーツ・ボーリングなど)

## 気づいたことや成果

- 株式会社ポアルース長野フットサルクラブと連携し、外部講師を招いてのウォーキングサッカー教室を開催することができた。

## 課題や反省点

- ・ 学生ボランティアの協力を得ることができるが、1回の時間が30分と短く、そのために遠くから来てもらうのは心苦しい。
- ・ 児童の基礎体力の低下が著しく、遊びを通して様々な運動を取り入れていくことが重要課題。

## 子ども・保護者の声

### 〈子どもの声〉

- ◇ 学校が終わってから遊べるので楽しい。
- ◇ やったことのないこスポーツ(ウォーキングサッカー)ができたりするのでおもしろい。

### 〈保護者の声〉

- ◇ 毎回の放課後子ども教室を子供はとも楽しみにしています。信州大学の学生ボランティアが来てもらえるときには特に張り切って活動しました。
- ◇ 異学年との交流があり、上の学年の子は、下の学年の子の面倒をよく見てくれてありがたいです。また、下の学年の子は憧れをもってお兄さんやお姉さんを見えています。

**(生坂村立生坂小学校)「のびのびスクール」  
マラソンクラブ**

**事業実施状況**



担当課・係	生坂村教育委員会	
主な活動場所	児童館	
	エアコンの設置(有・無)	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	偶数月第3火曜・奇数月第3金曜 放課後午後4～5時
	土日	-
	長期休業	※春休みにラン&ウォーク
帰宅方法	クラブ:迎え、一般:徒歩・迎え	
負担金	なし	
登録者数	登録なし (一日平均10人参加)	

**【スタッフ(人数)】**

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	1
協働活動サポーター	2	特別支援サポーター	-
ボランティア	5		

**【特徴・連携等】**

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	-		学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	-
	プログラム型	-		他団体、組織	○

**活動内容**

○1・2年生には、4・5月に走る勉強会で走り方等の基本を指導。  
 ○月1回の教室で、低学年・高学年に分かれ児童館周辺の農道を走る。  
 ○年間の目標を決め、走った距離をグラフ化。目標達成者には、コーチお手製のメダルと賞がもらえるので、子ども達も頑張れる。  
 ○春休みに、村内に設定したマラソンコースを走る「ラン&ウォーク」があり、毎年地元のボランティアの方が、コースの要所々で子どもランナーを見守り、声援を送っている。

**気づいたことや成果**

○当初は長距離を走ることになれておらず、思い切り走ったり、疲れて歩いたりする子が多かったが、回を重ねるにつれ、一定のスピードで歩くことなく走り続けることができる子が多くなってきた。

**課題や反省点**

○陽が早くおちる冬場は、夏よりも早く終わらせなければならぬため、高学年の部は走る時間が短くなってしまった。

**子ども・保護者の声**

〈子どもの声〉  
 ◇走るのが楽しい  
 ◇学校のマラソン大会で順位が上がってうれしい

〈保護者の声〉  
 ◇時間があれば私も走りたい！



(池田町立池田小学校)「いけっこクラブ」  
(池田町立会染小学校)「そめっこクラブ」

事業実施状況

担当課・係	池田町教育委員会 教育保育課学校総務係	
主な活動場所	教育会館・多目的研修センター	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校2～6年生	
実施日等	平日	15:20から17:30のうち 1時間を2回
	土日	
	長期休業	
帰宅方法	保護者	
負担金	なし	
登録者数	29人(一日平均6人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	協働活動支援員	1
協働活動サポーター	特別支援サポーター	
ボランティア		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	学習活動の特徴	自主学习	
	学校支援		学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型	その他の連携	保護者	
	プログラム型		他団体、組織	

活動内容

- 池田小学校と会染小学校の2年生から6年生の中で、大勢の中では集中が途切れやすく、落ち着いて学習ができない児童や、学習の定着がゆっくりで個別学習や小集団での学習が必要な児童に、1回1時間(1日2回)学習支援を行う。
- いけっこクラブ(池田小学校児童) 教育会館で月・火の15:20-16:20と16:30-17:30
- そめっこクラブ(会染小学校児童) 多目的研修センターで水・木・金の15:20-16:20と16:30-17:30  
学習内容は、宿題、復習、学習帳などで、学習の後にゲームなども行う。

気づいたことや成果

- 勉強に意欲が出るなど、良い結果が得られている。
- 事業の継続や、回数を増やしてほしいなどの要望があり、好評である。
- 高学年になるにつれ、自主学习ができたり、時間いっぱい学習する児童が増えた。

課題や反省点

- ・希望する児童は多いが、全てに対応できない。(増加する希望者にどう対応したら良いか。)
- ・書字障害などLDといわれる児童にあった学習方法。
- ・集中できる環境(机の配置など)を工夫したい。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇わからない事を教えてもらいわかるようになった。宿題や勉強が楽になった。
- ◇あいさつができるようになったり、学年のちがう友達とお話ができるようになった。
- ◇学校で発言ができるようになった。

〈保護者の声〉

- ◇楽しく学習できている。◇宿題など終わらせて帰るので、家庭でのいろいろがスムーズにできるようになった。
- ◇積極的に出ていく子ではないが、このクラブには休まず参加できてうれしく思う。

# 松川村立松川小学校

## 事業実施状況



担当課・係	松川村教育委員会 子育て応援課子育て応援係	
主な活動場所	松川小学校や公民館など	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週月～金曜日 放課後午後3～6時
	土日	なし
	長期休業	夏休み15日(H30年度)
帰宅方法	徒歩、お迎え	
負担金	登録料年間3,000円(1年生は 2,400円)	
登録者数	250人(平均利用人数約70名)	

### 【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	0	協働活動支援員	2
協働活動サポーター	7	特別支援サポーター	1
ボランティア	0		

### 【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学習	○
	学校支援	—		学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	○		他団体、組織	—

## 活動内容

子どもたちが放課後等に、安心・安全な活動ができる居場所の提供をします。自主的に、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を行います。

**遊び**・・・室内、体育館、公園を利用して自由に自分たちの遊びをします。遊ぶ道具等も用意しています。

**学習**・・・学習室を設け、学習アドバイザーが学習支援を行います。

### 体験活動

○**テーマ活動**・・・1日ひとつの体験活動を行っています。内容は工作、スポーツ、昔遊びなど様々。全学年が自由に参加できます。

○**継続体験活動**・・・1年間を通して毎週一回程度、継続して体験活動を行っています。3年生以上の希望者が登録をして参加します。H30年度は9つの活動を行っています。

**行事**・・・季節ごと等に、児童クラブと合同で行事を行います。

## 気づいたことや成果

- 放課後の居場所として、子ども教室・児童クラブ・子育て支援施設(未来センター)がある中で、過ごしたい場所を子どもや保護者が選択して過ごしている。
- 日々の遊びや行事の中で、異学年での交流が見られる。
- 卒業した子どもたちが、ボランティアやアルバイトとして戻り、子ども達と関われる居場所となっている。

## 課題や反省点

- ・スタッフの確保、質の向上
- ・話し合いの機会を多く持ち、スタッフ同士の共通理解を深めていく。
- ・集団生活の中で大切なことを根気強く伝えていく。
- ・利用者が多くなり、受け入れる子どもが多様化する中で、一人一人をどう受け入れていくか考えていく。

## 子ども・保護者の声

### 〈子どもの声〉

- ◇また、何か料理などを作ったりすることがあれば参加したい。
- ◇夏休み中に高校生のお兄さんやお姉さんが遊んでくれて楽しかった。

### 〈保護者の声〉

- ◇行事でグループごと、学年の違う子どもたちと関わることができてよかった。
- ◇夏休みに、お弁当作りや火おこしのカレー作りを楽しんでいたようです。家でも自分で作ったものを作ってくれました。

# （千曲市立更級小学校）「放課後子ども教室」

## 事業実施状況

担当課・係	千曲市教育委員会 生涯学習課 生涯学習係	
主な活動場所	小学校の体育館・校庭	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週水曜日 放課後午後2時30分～5時(冬 季間は短縮)
	土日	実施なし
	長期休業	実施なし
帰宅方法	約半数が保護者の迎え、他は 一般児童と同じ	
負担金	1,000円/年	
登録者数	54人(一日平均49人参加)	



### 【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	—
協働活動サポーター	15	特別支援サポーター	—
ボランティア	—		

### 【特徴・連携等】

他事業と の連携	児童クラブ	—	学習活動の 特徴	自主学習	○
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動 等の特徴	自由活動型	○	その他 の連携	保護者	—
	プログラム型	—		他団体、組織	—

## 活動内容

- 実施は、毎週水曜日の放課後 午後2時30分～午後5時
- ※夏季休暇ほか、学校が休みの場合は実施なし
- ※終了時間は、10、2、3月は4時30分、11～1月は4時(学校の帰宅時間のきまりの30分前に終了)
- ※帰宅方法は、登録時に保護者が決める
- 負担金のうち800円は傷害保険料(年額)
- 活動は、学校の体育館及び校庭等で「自由あそび」、年数回特別教室を実施
- ※H30年度の特別教室は、6月:お話会(低学年)、7月:料理教室(低学年と高学年の希望者)、10月:マレットゴルフ体験(低学年)、11月:チャレンジトライ大会(希望者)、フラワーアレンジメント(希望者)、12月:料理教室(低学年)、2月:節分豆まき

## 気づいたことや成果

- 放課後に「決められたこと」をする特別教室を好まない又は嫌がる児童も多いため、今年度から、多くの特別教室で希望者のみの参加としたところ好評だった。
- 子どもたちは独自のルールでゲームや新たな「あそび」を創り遊んでいることも多く感心する。学校でも家庭でもない「放課後」で、それぞれが有意義な時間を過ごせる安全・安心な居場所づくりを継続したい。

## 課題や反省点

- ・H30年度より、低学年の下校時間が早まり(2:30下校)、高学年は遅くなった(3:30下校)。時間の関係で特別教室は高学年の参加が困難となり、冬期は活動時間がほとんど無くなった。
- ・夏季は、なんとか乗り切ったが、猛暑日が続く、避難場所(エアコン)も無く、児童の熱中症対策に苦慮し、サポーターからも悲鳴があがった。
- ・サポーターが不足している。公募や声掛け等しても、なり手がおらず今後の実施が危ぶまれる。

## 子ども・保護者の声

### 〈子どもの声〉

- ◇友達とたくさん遊べて楽しい
- ◇宿題のわからない部分を友だちと相談したり、サポーターに教えてもらうことができる
- ◇遊べる時間が短い(高学年)

### 〈保護者の声〉

- ◇学校や家庭ではできない経験ができる
- ◇放課後、大勢の友達と遊べて楽しそう

# (小布施町立栗ガ丘小学校)「小布施子ども教室」

## 事業実施状況

担当課・係	小布施町教育委員会 子ども支援係	
主な活動場所	栗ガ丘小学校余裕教室	
	エアコンの設置(有 <del>(無)</del> )	
対象児童	小学校1年～6年生	
実施日等	平日	毎日 放課後～18時(冬期は17時)
	土日	イベントによる
	長期休業	夏休み15日間、春休み15日間
帰宅方法	一般児童と同じ	
負担金	一般コース:月額1,000円(保険料等) 活動コース:月額1,500円(保険料、教材費等)	
登録者数	192人(一日平均80人参加)	



### 【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)		協働活動支援員	4
協働活動サポーター		特別支援サポーター	
ボランティア	15		

### 【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	○
	プログラム型	○		他団体、組織	○

## 活動内容

子どもたちが放課後、見守りの中で活動できる遊び場を提供します。また、子どもの自主的な行動を育て、地域の方々との連携支援により活動を支援します。

○一般コースは、子ども教室の部屋、校庭、体育館、図書館の施設で自由に過ごします。

○活動コースは、一般コースの活動に加えて、週2回程度、野菜作り、スポーツ、調理実習、教養、遠足、伝統芸能(能)等の活動を行います。

様々な体験活動を通して、仲間作り・根っこ作りをしていくため、年間を通して参加できることが登録の条件となります。活動コースの田植え、稲刈り、キャンプ等大きなイベントについては、特に、保護者や地域の人の協力のもと活動を行っています。

## 気づいたことや成果

○活動コース卒業生の中学生、高校生、大学生のボランティア参加は、子どもたちが上の先輩との交流体験ができ、子どもたちに良い刺激となったり、様々な年代の地域住民との交流や連携が生まれています。

## 課題や反省点

- ・コーディネーターの人員不足
- ・配慮を要する児童の受け入れと対応について

## 子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

◇都市農村交流を行っている墨田区の方々と一緒に田植えを行いました。今まで地域の人たちに教えてもらったことを、今度は自分が教えることができよかったです。

◇キャンプでドラム缶風呂に入りました。とても気持ちよかったです！最高！

〈保護者の声〉

◇毎年、キャンプ等の参加を子どもたちが楽しみにしています。

◇活動を通してみんなの事を考えられたり、支えてくれる人のことを考えられるようになりました。

◇課題が出たときに、子どもたちに「どうしたらよいか？」と聞いて、みんなで話し合っ決めていくことが大切だと思えます。

# 信濃町立信濃小中学校

## 事業実施状況



担当課・係	信濃町教育委員会	
主な活動場所	信濃町地域交流施設	
	エアコンの設置(有)・無	
対象児童	小学校4年生から6年生	
実施日等	平日	1ヶ月に2教室(1教室各4回) *実施曜日は固定しない。
	土日	なし
	長期休業	なし
帰宅方法	保護者の迎え	
負担金	500/月	
登録者数	30人(一日平均20人参加)	

### 【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	1
協働活動サポーター	20	特別支援サポーター	—
ボランティア	—		

### 【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学習	—
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	—	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	○		他団体、組織	—

## 活動内容

※5月から2月まで(8月を除く)1ヶ月に2教室実施。(各教室4回)→年間18教室 72回開催

※毎月参加募集をし、申し込みをして参加するという形態をとっている。

※教室毎に、各活動内容に精通した地域の方々に指導をしていただき、協働活動支援員・コーディネーターが補助に入って運営している。

### (1)活動曜日及び時間

・時間・・・学校登校日 午後5時～6時まで

・曜日・・・子どもたちの習い事等の関係もあるので、曜日は固定せず、月毎に変更している。

### (2)活動内容

- ①自然教室:活動場所周辺の生き物調べ・裏山の草木の観察や化石のレプリカ作成など。
- ②もの作り教室:木や葉、松ぼっくり、枝等を使った工作(ネームプレート・オモチャ)・リース作り
- ③茶道教室:季節のお菓子やお抹茶をいただきながら落ち着いた心でお茶を楽しみます。
- ④スポーツ教室:囲碁ボール・ドッジビー・フラバールバレー・バドミントン等
- ⑤ヨガ教室:アロマ→ヨガ→太陽のポーズ・猫のポーズ・太陽礼拝のポーズ 等
- ⑥エコクラフト教室:エコクラフトの紙テープを使ったカゴを作ります。
- ⑦折り紙教室:折り紙を使っていろいろな折り方を学べる教室です。
- ⑧郷土料理教室:裏山へ笹の葉を取りに行き、笹餅・笹ちまきを作ります。
- ⑨えぼっこ教室:本など出版されている講師の先生です。様々な描き方を教えてもらう。
- ⑩紙芝居教室:紙芝居作り・親御さんを招待しての発表会

## 気づいたことや成果

○教室を楽しみにしている子どもたちが多く、ロコミ等により、参加者が増えてきている。

○教室での指導等を通して、地域の方と子どもたちの結びつきが深まってきている。

## 課題や反省点

- ・毎回開催する講師の人材確保が困難
- ・参加申し込みがなく、教室当日参加する子供があり教材等の準備に支障があった。
- ・1時間という時間制限があり、子供たちの要望を叶えられない教室があった。

## 子ども・保護者の声

### 〈子どもの声〉

- ◇いろいろな体験ができて、とても楽しいので、これからももっと続けたい。
- ◇毎月、どんな教室になるのか、すごく楽しみにしている。
- ◇いつもと違う友だちと帰ってきたり、一緒に活動ができるので、うれしいです。
- ◇部活動の曜日ははずしてほしい。

### 〈保護者の声〉

- ◇放課後子ども教室がある日は、はりきって学校に出かけていき、毎回楽しそうに帰ってきます。毎回の子ども教室の日を心待ちにしています。
- ◇この教室に参加させてもらうことで、ゲームやテレビに頼らない過ごし方ができて、とても助かっています。
- ◇同世代の子どもと勉強以外で過ごせる時間があるということは良いことだと思います。
- ◇下校から、直接活動場所に向かって行き活動するということで、安心です。
- ◇毎月お世話になる毎に、地域の教えてくださる方々との交流や地元の文化にふれることができ、素晴らしいと思っています。これからもずっと長く続けていただきたいと思います。

# (中野市立日野小学校)「ぽっぷ教室日野」

## 事業実施状況

担当課・係	子育て課青少年未来係	
主な活動場所	日野小学校	
	エアコンの設置(有 <del>(無)</del> )	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週木曜日 放課後午後3:20～4:35
	土日	なし
	長期休業	なし
帰宅方法	可能な限り保護者の迎え	
負担金	保険料年額800円(スポーツ保険)	
登録者数	16人(1日平均14人参加)	



### 【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	1
協働活動サポーター	1	特別支援サポーター	-
ボランティア	-		

### 【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	-		学習支援	-
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	-
	プログラム型	-		他団体、組織	○

## 活動内容

### 1 ぽっぷ教室の活動の流れ

- (1)準備と打ち合わせ(10分) (2)はじめの会(10分) (3)集団活動(20～40分) 自由遊び(20～40分)  
(4)おわりの会(10分) (5)後片付け・次回の打ち合わせ(10分)

### 2 活動の内容

#### (1)軽いスポーツやレクリエーション活動

- ・外部講師による活動(ヒップホップダンス教室:年1回、「信濃グランセローズ」選手との交流:年1回、ニュースポーツ:年1回、工作教室:年1回)
- ・陣取りや鬼ごっこなどの集団遊び 昔の遊びや学び合い活動

#### (2)自主的で自由な遊び

- ・ハンドベース、ドッチボール、パラシュート、縄跳びなど、自由に個人や小集団で活動

#### (3)地域の方との触れ合い、一緒にする体験活動 工作教室 年1回

## 気づいたことや成果

- 平均出席率は、90%近くあり、子ども達は毎回いろいろな遊びを通して、体を動かし、仲間と関わり、満足していた。
- 学校生活に慣れない1年生も、次第に慣れ、トラブルなく遊べるようになってくる。異学年の交流もあり、上の学年がリードすることも多くなった。

## 課題や反省点

- ・子ども達の安全で自主的な活動を保障していくには、スタッフの充実と連携が大切であるが、スタッフを十分に確保し続けることが難しい。
- ・子どもの人数が多い教室では、二部制を導入しているが、低学年の児童の加入が多く、活動の内容の工夫が必要である。

## 子ども・保護者の声

### 〈子どもの声〉

- ◇思い切り遊べるので楽しい。あまりやったことのない遊びもできて楽しい。
- ◇もっとたくさんの方に「ぽっぷ教室」があるといいな。

### 〈保護者の声〉

- ◇いつも楽しそうに遊んで、汗をかいて帰ってくる。スタッフにとっても感謝している。

**(木島平村立木島平小学校)  
「木島平村放課後子ども教室」**

**事業実施状況**



担当課・係	木島平村教育委員会 子育て支援課子育て支援係	
主な活動場所	木島平小学校	
	エアコンの設置(有・無)	
対象児童	小学校3～6年生	
実施日等	平日	毎週火・水・木・金曜日 放課後～午後6時
	土日	なし
	長期休業	なし
帰宅方法	保護者が小学校まで迎え	
負担金	1日300円 (最大月額5000円 限度額)	
登録者数	61人(一日平均18人参加)	

**【スタッフ(人数)】**

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	2	協働活動支援員	2
協働活動サポーター		特別支援サポーター	
ボランティア			

**【特徴・連携等】**

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学習	-
	学校支援	-		学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型	-	その他の連携	保護者	-
	プログラム型	○		他団体、組織	-

**活動内容**

- 【算数教室(5, 6年)】週2回(水・木曜日)実施 ◆受講児童19人(5年8人、6年11人)  
《学習内容》受講児童一人一人の学習理解の実態や希望に応じて、予習と復習の両面から、個別指導を中心にして学習アドバイザーがプリント問題を用意して取り組ませている。
- 【英語教室(3, 4年)】週1回(金曜日)実施 ◆受講児童31人(3年13人、4年18人)  
【英語教室(5, 6年)】週1回(火曜日)実施 ◆受講児童22人(5年13人、6年9人)  
《学習内容》英語に慣れ親しませ、英語活動を楽しむいう点を大切にして、簡単な英会話や日常生活に必要な物等の単語の習得、英語の歌、ゲーム等に取り組ませている。

**気づいたことや成果**

○活動を楽しみにしたり、はりあいしたりして、学校の下校と同時に来室してくる児童がいる。このような児童は、教室が始まるまでの時間を、家庭学習や自主学習に取り組んでいて、アドバイザーが相談にのったり、支援したりしている。また、学習面以外にも、生活面や友人関係等から、不安や悩みを相談してくる児童がいるため、丁寧に対応するようにしている。

**課題や反省点**

○入室している児童が多いため、児童一人一人の実態に応じて、丁寧に十分に対応する時間や場が確保できにくい実態がある。コーディネーターとアドバイザーが連携をしっかりとって、対応しようとしている。  
○児童の送迎に対して、保護者の皆さんの協力のもと、問題なく安全に実施できていてありがたい。これから、特に冬期間は、安全に十分に留意して行っていけるようにしたい。

**子ども・保護者の声**

〈子どもの声〉

- ◇算数で、学校の授業ではよくわからなかったことが、わかるようになってうれしかった。いろいろな問題に取り組めて楽しい。
- ◇学校から出された宿題ができてうれしい。わからないことは、先生に教えてもらえるのでいいです。

〈保護者の声〉

- ◇子どもが、喜んで通い続けているので、うれしい。このまま、がんばり通してほしい。

(野沢温泉村立野沢温泉小学校)  
「のざわおんせん遊友くらぶ」

事業実施状況



担当課・係	野沢温泉村教育委員会 こども支援係	
主な活動場所	野沢温泉小学校遊友くらぶ室 野沢温泉小学校体育館など	
	エアコンの設置(有)・無)	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	毎週月～金曜日 放課後～5時(冬期4時30分)
	土日	毎週土曜日開催なし
	長期休業	夏休み約20日間 春休み約10日間
帰宅方法	一般児童と同じ	
負担金	800円(保険料)	
登録者数	91人(一日平均25人参加)	

【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	2
協働活動サポーター	2	特別支援サポーター	0
ボランティア	0		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	—	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	○		他団体、組織	○

活動内容

- 毎週月曜日から金曜日まで、野沢温泉小学校内の遊友くらぶ室や体育館、グラウンドで活動。  
遊友くらぶ室内で自主学習のほか、読書や折り紙、カードゲームで仲間と遊んだり、体育館等でドッジボールや卓球など体を使う活動を行っています。
- プログラムにある、ふるさと学習では、村の伝統工芸のつる細工や、道祖神のご神体作成も地域の方に教わりながら取り組んでいます。
- 夏休みなどは、村内散策で「足湯」を体験したり、村の公民館やおぼろ月夜の館を訪問し村を知る活動もしています。

気づいたことや成果

- 自分たちで宿題に取り組んだり、遊びを通して異学年などの仲間づくりができた。
- ふるさと学習では、普段体験することのできない、つる細工やご神体づくりを体験し地域を知る機会となっている。

課題や反省点

- ・子ども教室の雰囲気になじめず、いつの間にか来なくなる児童がいる。静かに活動したい児童に対し配慮が必要だと感じる。
- ・スタッフの確保に苦労している。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇友達と遊べて楽しい。
- ◇イベント(夏休みや、ドッジボール大会、つる細工、ご神体作成、クリスマス会)を楽しみにしている。

〈保護者の声〉

- ◇宿題を済ませてくれるので助かる。
- ◇子どもの少ない地域なので、友達と遊べる場となってありがたいです。